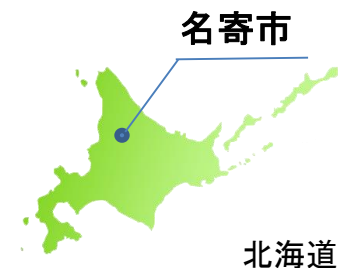


地域の教育ファームで生き生き暮らす

平成27年度消費・安全対策交付金(食育事例)
事業実施主体:なよろ食育推進ネットワーク(北海道)

- 平成18年6月ネットワーク設立
- 「なよろ食育推進ネットワーク」は、「家庭での食卓をはじめ、食環境は多様化する中で、豊かな人間性を育み、生きる力を身に付けていくために、自然農法の理念と健康感に基づく『食』を基本にした生涯学習としての家庭づくりに寄与していく」ことを目的として、次の3点を柱に活動している。
 - ① 各団体との連携による食セミナー
 - ② 農村における体験学習や料理教室
 - ③ 食育に関するシンポジウム、研修会



【取組の内容】

栽培から食までの体験提供を「一般公募型」と「学校支援型」で実施。市長等の各関係者を招いた活動報告会・意見交換会を開催。

- ① 一般公募型では、「ちびっこワンダーランド畑の学校」として、野菜などの播種・定植から収穫までの管理を、地域農家や研究農場スタッフが指導する。
- ② 学校支援型では、学校園や近隣農家圃場で行う農園活動であり、農業者、老人クラブ、保護者等の指導を受けて稲作や野菜作りに取り組み、収穫祭や餅つきまで体験する。



学校支援型の田植え指導



活動報告会

【取組の成果】

子どもたちの食改善に効果があったことや、保護者である農業者たちからも、子供が親の仕事を理解することに繋がるといった感謝の言葉があった。

また、指導者である現役を退いた農業者やお年寄りたちからは、自分の経験を子供たちに伝えることに「やりがい」を感じるということであった。

世代間交流を促進し、子どもたちの成長にプラスになるとともに、お年寄りたちにとっても生きがいの創出や健康の維持増進など高齢者福祉に結びついている。

地域の様々な場面で食農教育を展開することで、名寄市の食育推進目的である「市民が心身の健康を確保し、生涯にわたって生き生きと暮らすこと」に繋がっている。



食農教育で地域活性